

ホイール, サスペンション

トラブル シューテイング	11-2
ホイール, タイヤ	11-3
フロント アクスル ハブ	11-4
フロント サスペンション	11-6
フロント, リヤ, ホイール アライメント	11-10
リヤ アクスル ハブ	11-11
リヤ, サスペンション	11-13



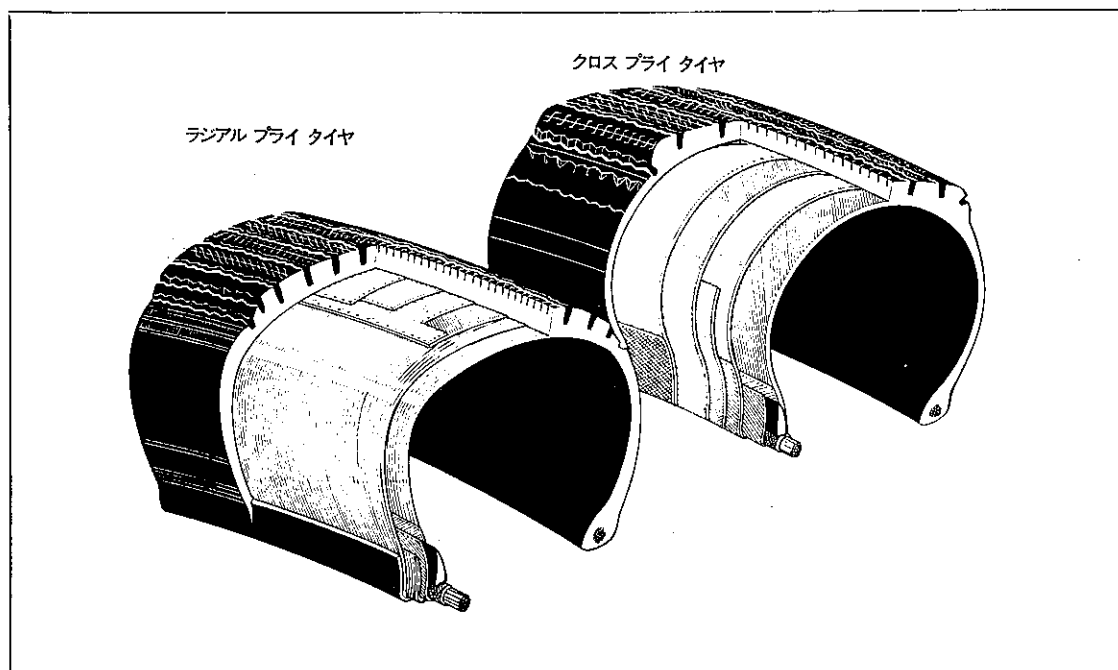
トラブル シューティング

現象および推定原因	処 置
ステアリング ホイールの操作が重い 1 タイヤ空気圧不適當 2 フロント ホイール アライメント不正 3 各部給油不足 4 ボール ジョイントの固着 5 リンク結合部の固着 6 ステアリング ラックハウジング調整不良, 損傷	適正圧力に調整 アライメント調整 各部給油 ボール ジョイント交換 交換 調整または交換
ステアリング ホイールが振れる 1 タイヤ空気圧不均等 2 フロントおよびリヤ アライメント不正 3 ベアリング(ホイール用)の調整不良・摩耗 4 ホイールのアンバランス 5 ハブ ナットのゆるみ 6 サスペンション アームの変形・取り付け不良 7 ステアリング ラックハウジング調整不良 8 ボール ジョイントの摩耗, 破損 9 リンク結合部のゆるみ, 破損 10 各アーム ブッシュの摩耗	適正圧力に調整 アライメント調整 調整または交換 バランス修正または交換 ハブ ナット締め付け 点検修正または交換 点検, 修正 ボール ジョイント交換 修正または交換 交換
ステアリング ホイールが取られる 1 タイヤ空気圧, 不均等 2 フロントおよびリヤ アライメント不正 3 ベアリング(ホイール用)の調整不良, 摩耗 4 スプリングの折損, 衰損 5 ショック アブソーバ作動不良 6 サスペンション アームの変形, 取り付け不良 7 ステアリング ラックハウジング調整不良	適正圧力に調整 アライメント調整 調整またはベアリング交換 スプリング交換 ショック アブソーバ交換 点検, 修正または交換 調整
タイヤ過度摩耗または偏摩耗 1 タイヤ空気圧不適當 注 高空気圧……トレッド中心部が摩耗 低空気圧……ショルダに近いトレッド部が摩耗 2 フロントおよびリヤ ホイール アライメントの不正 3 ホイールのアンバランス 4 ベアリングの遊び大 (ホイール用) 5 ホイールの振れ大	適正圧力に調整 アライメント調整 バランス修正 調整 ホイール交換
タイヤのきしみ音 1 タイヤのきしみ音 2 ホイール アライメント不正 3 ナツクルまたはサスペンションアームの変形	適正圧力に調整 アライメント調整 修正または交換

現象および推定原因	処 置
ステアリング ホイールに衝撃を感じる 1 フロント ホイール アライメント不正 2 タイヤ空気圧高すぎ 3 ラックとピニオンのかみ合い調整不良 4 ラック ガイド調整不良	アライメント調整 適正圧力に調整 かみ合い調整 調整
ホイールのおどり 1 タイヤ空気圧高過ぎまたは不均等 2 ホイールのアンバランス 3 ショック アブソーバ作動不良 4 スタビライザ衰損、ゴム損傷	適正圧力に調整 修正または交換 ショック アブソーバ交換 交換
騒 音 1 タイヤ空気圧高過ぎ 2 各部潤滑不足 3 ベアリング（ホイール用）不良 4 ショック アブソーバ不良 5 各締め付け部のゆるみ、摩耗 6 コイル スプリング折損または衰損 7 コイル スプリングの取り付け不良	適正圧力に調整 各部給油 調整または交換 交換 締め付け、交換 スプリング交換 修正

ホイール、タイヤ

概 説



第11-1図 一般タイヤとラジアル タイヤの断面

Y5228

取りはずし、取り付け

注

- 1 取りはずし、取り付け作業は、必ずハブ ナットレンチを使用して行なうこと。
- 2 ホイールがマグネシウム合金のため、キズが付きやすいので、取り扱いには特に注意し、塗装のはがれやキズはすぐに補修（クリアラツカ塗装）をして、腐しを防ぐ。

タイヤのローテーション

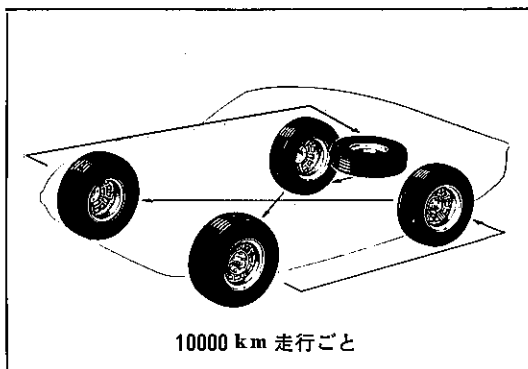
10000 km 走行ごとに、タイヤの取り付け位置を第11-2図のように交換する。

空気圧調整

MF10 型車には、ラジアル プライ タイヤが標準

第11-1表 タイヤ 空気 圧

使用最高速度 (km/h)	120 以下	200 以下	200 以上 (参考値)
タイヤ空気圧 (kg/cm ²)	1.9	2.2	2.8 (瞬間) 3.2 (長時間)



第11-2図 タイヤのローテーション

Y5229

装備として取り付けられているため、タイヤ空気圧は使用目的によつて異なるので、第11-1表により規定空気圧に調整する。

ホイールのバランス点検修正

MF 型車は、性格上高速で走る機会が多いので、特にホイールのバランスは精密に修正する必要がある。

注

- 1 バランス ウェイトは必ず MF 型車専用のウェイトを使用すること。
- 2 ウェイトは、バランス修正中テープ等で付けて行ない、正確な位置が決定してから専用クリップで取り付ける。

第11-2表 バランス ウェイトの種類

品 番	種 類	重 量(g)
90942-03056	No. 1	8.2
90942-03057	No. 2	16.4
90942-03058	No. 3	26.4
90942-03059	No. 4	36.4
90942-03060	No. 5	46.4
90942-03061	No. 6	56.4

注 ウェイト単体の重量を表す

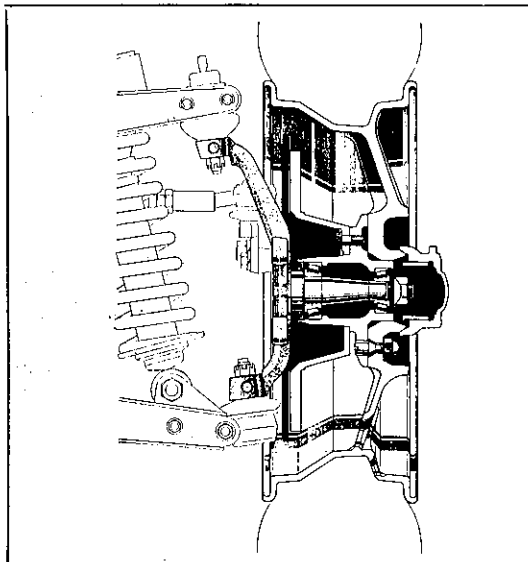
第11-3表 バランス ウェイト (クリップ) の種類

品 番	種 類	重 量(g)
90942-03062	No. 1	1.8
90942-03063	No. 2	3.6

注 クリップ No.1はウェイト No.1のみに使用

フロント アクスル ハブ

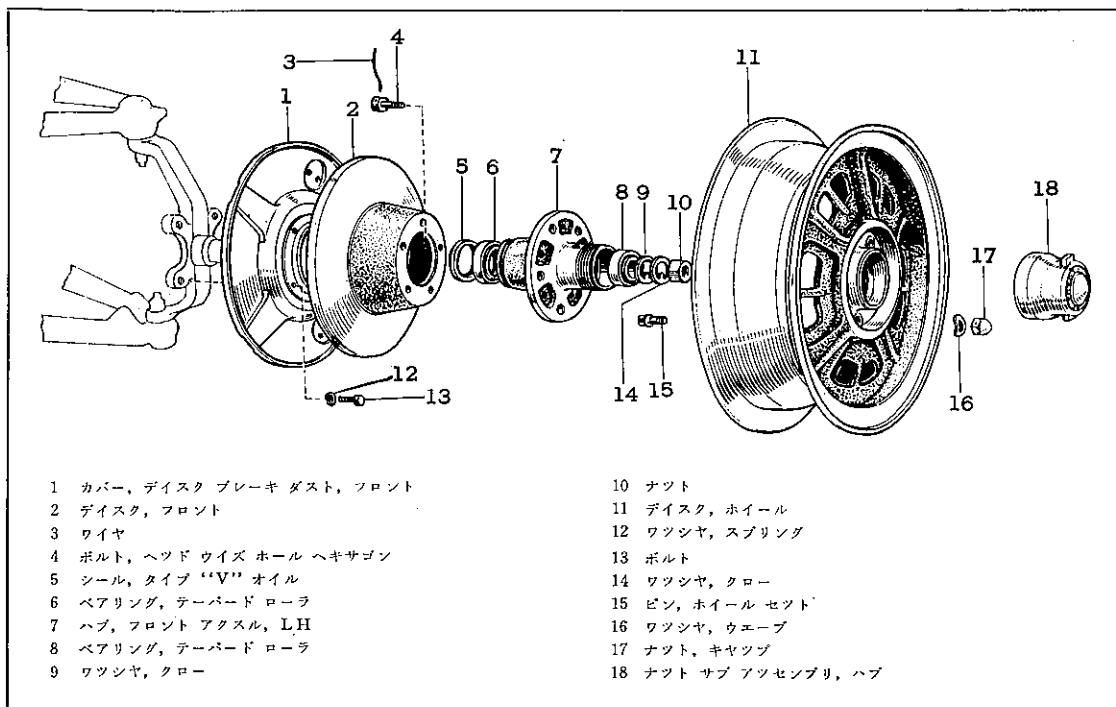
概 説



第11-3図 アクスル ハブ断面

Y5230

構成部品



第11-4図 フロント アクスル ハブ構成部品

Y5231

取りはずし

- 1 ユニオンよりホイール シリンダ チューブを切り離し、ブレーキ キャリパを取りはずす。
- 2 フロント アクスル ハブを、ベアリング、オイル シールとともに取りはずす。

分解

1. フロント ディスクよりフロント アクスル ハブを、合わせマークを付けた後切り離す。
- 2 ベアリング カップを取りはずす。
 注 インナ側はオイル シールとともに取りはずす。

点検

分解した部品は洗浄点検し、不具合があれば交換する。

- 1 フロント ディスク、ハブ；摩耗、損傷、き裂。
- 2 ベアリング、カップ；損傷、摩耗。
- 3 タイプ "V" オイル シール；損傷、変形、リップ部の衰損、摩耗。

組み付け

分解作業の逆に行なう。

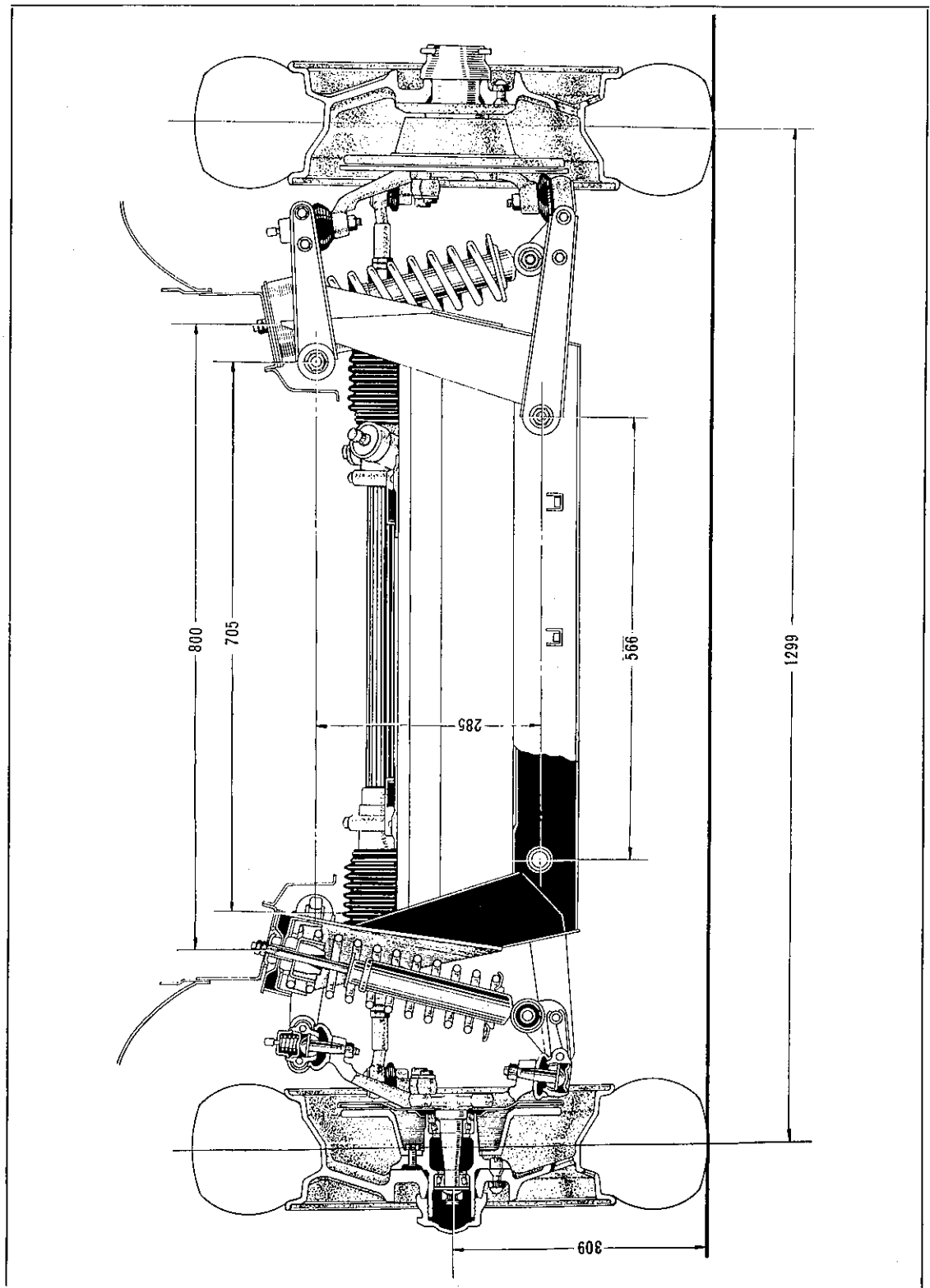
注

- 1 オイル シールは分解したら必ず交換する。
- 2 ベアリング、およびハブ内壁、オイル シールに、キャツスル MP グリースを充てんする。

取り付け

- 1 ハブをステアリング ナックルに組み付ける。
- 2 ベアリング プレロードの調整。
 - (1) アジャステイング ナットを 4.0m・kg で締め付け、ドラムを 2～3 回往復回転させてベアリングの落ち付きを確認する。
 - (2) フロント ホイール アジャステイング ナットを指で回る程度までゆるめる。
 - (3) ナットにソケット レンチのソケットをはめ手でソケットを締め付け、クローワッシヤでロックする。
- 3 ディスクの振れを点検する。
- 4 ブレーキ キャリパを組み付ける。

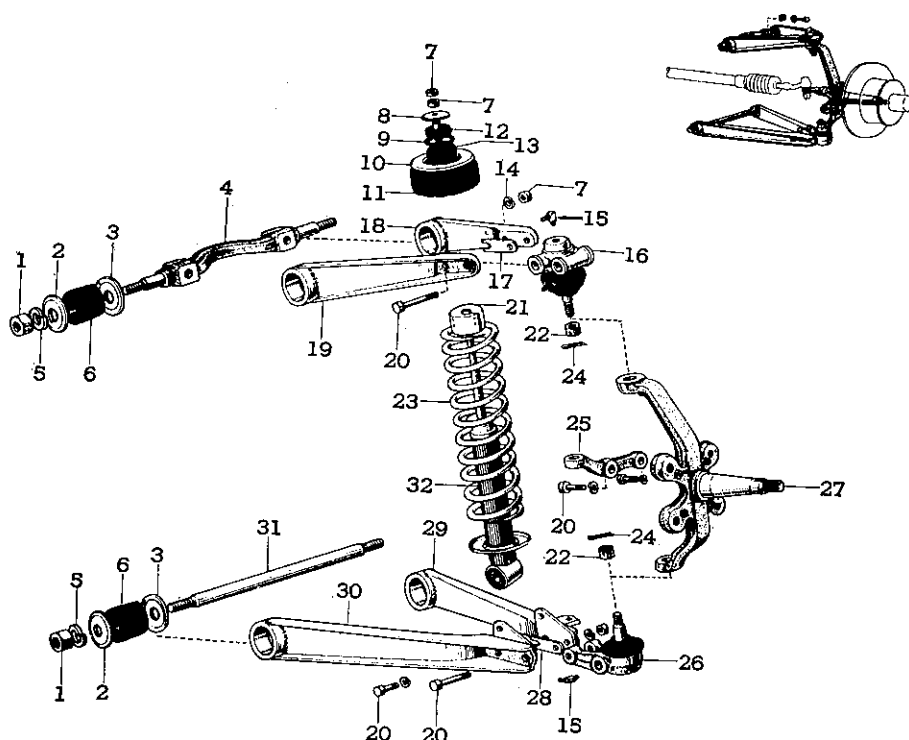
フロント サスペンション 概 説



第11-5図 フロント サスペンション断面

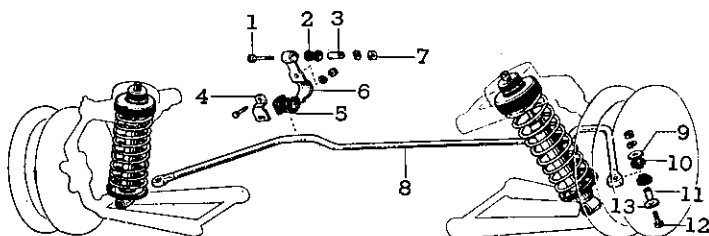
Y5232

構成部品



- 1 ナット
- 2 ワッシャ
- 3 ワッシャ
- 4 シャフト, アツパ アーム フロント
- 5 ワッシャ, スプリング
- 6 ブシュ
- 7 ナット
- 8 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 9 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 10 スペーサ, コイル スプリング
- 11 インシュレータ, コイル スプリング
- 12 クッション, ショック アブソーバ
- 13 クッション, ショック アブソーバ
- 14 ワッシャ, スプリング
- 15 フィッティング, グリース
- 16 ジョイント セット, アツパ ボール フロント

- 17 シム, アツパ コントロール アーム No.1
- 18 アーム, アツパ フロント
- 19 アーム, アツパ フロント
- 20 ボルト, ヘキサゴン
- 21 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 22 ナット, キャブスル
- 23 スプリング, コイル フロント
- 24 ビン, コスタ
- 25 アーム, ステアリング ナット, RH
- 26 ジョイント セット, ロワー ボール
- 27 ナット, ステアリング
- 28 シム, ロワー アーム
- 29 アーム, ロワー, No.2
- 30 アーム, ロワー, No.1
- 31 シャフト, ロワー, アーム フロント
- 32 アブソーバ, ショック フロント



- 1 ボルト
- 2 クッション, スタビライザ
- 3 カラー
- 4 カバー, スタビライザ リンク
- 5 ブシュ, スタビライザ フロント
- 6 リンク, スタビライザ フロント
- 7 ナット

- 8 バー, スタビライザ フロント
- 9 リテーナ, クッション
- 10 クッション, スタビライザ
- 11 カラー
- 12 ボルト
- 13 リテーナ, クッション

第11-6図 フロント サスペンション構成部品

Y5233 G0361

アツパ フロント アーム,

アツパ アーム シヤフト フロント

取りはずし

- 1 ボルトまたはナット(1), (4), (5), (6)を取りはずし, アツパ フロント アーム(7), (8)を取りはずす。
- 2 ボルト(2), (3)をはずし, アツパ アーム シヤフト フロントを取りはずす。

注 キャンバ アジャストシムの枚数をそれぞれ記録しておく。

ブシユ交換

コントロール アーム ブシユ リムーバ アンド リプレーサ〔09716-62010〕を使用して行なう。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 ブシユの締め付けは, 積載状態の車高にして締め付ける。(第11-7図)

- 締め付けトルク (1) (4) 5~7 m·kg
(2) (3) 9~12 m·kg
(5) (6) 2~3 m·kg

アツパ ボール ジョイント

取りはずし

- 1 ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕を使用して, アツパ ボール ジョイントを切り離す。
- 2 アームより, ボール ジョイントを取りはずす。

点 検

摩耗, き裂, およびシール カバー, ブーツ等の傷または破損を点検する。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

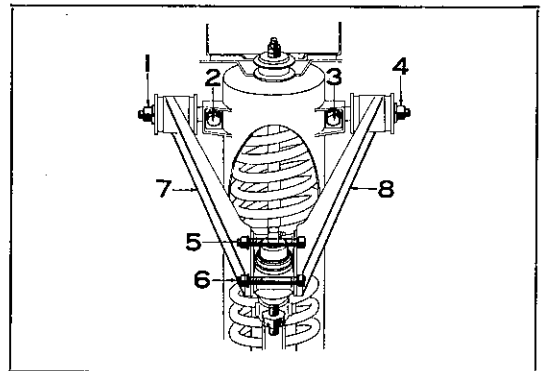
注 ボール ジョイントとステアリング ナツクル

締め付けトルク 4.0~5.5 m·kg

ステアリング ナツクル

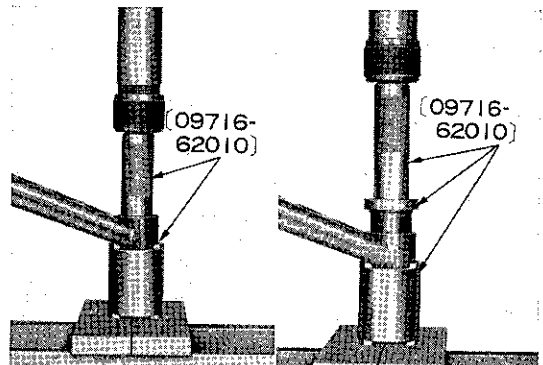
取りはずし

- 1 フロント アクスル ハブを取りはずす (P11-5参照)



第11-7図 アツパ アーム取りはずし

Y5234



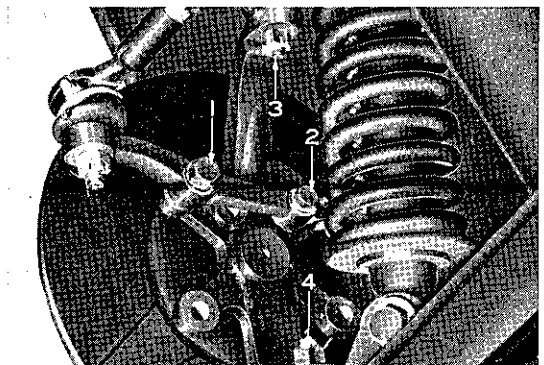
第11-8図 ブシユ取りはずし取り付け

V1840 V1841



第11-9図 ボール ジョイント取りはずし

V1842



第11-10図 ステアリング ナツクル取りはずし

V1843

- 2 ダスト カバーを取りはずし、ステアリング ナツクル アームをボルト(1), (2)を取つて取りはずす。(第11-10図)
- 3 ボール ジョイント アツパ(3), ロワー(4)を, ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕を使用して切り離し, アームを取りはずす。(第11-10図)

点 検

- 1 ナツクルのスピンドル付け根部, ネジ部等を

厳密に点検し, き裂その他の不具合があれば交換する。

- 2 点検は, 染色探傷剤または磁気探傷器等を使用して行なう。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 締め付けトルク

第11-10図	(1)	8~10 m·kg
	(2)	5.0~6.5 m·kg
	(3)	4.0~5.5 m·kg
	(4)	11~13 m·kg

ロワー ボール ジョイント

取りはずし

- 1 スタビライザを取りはずす。
- 2 ボール ジョイント プラー〔09628-62010〕でロワー ボール ジョイントを切り離す。
- 3 ボルト(1), (2)を取り, ボール ジョイントを取りはずす。(第11-11図)

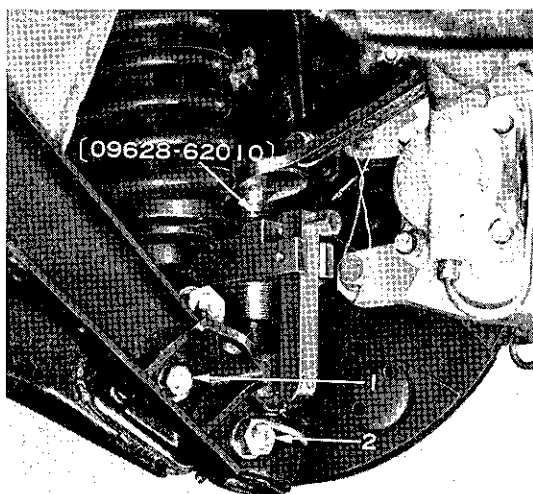
点 検

アツパ ボール ジョイントの項(P11-8)を参照する。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 締め付けトルク



第11-11図 ボール ジョイント切り離し

V1844

第11-11図	(1)	3.0~4.5 m·kg
	(2)	8.0~11.5 m·kg

コイル スプリング フロント,

シヨック アブソーバ,

ロワー アーム

取りはずし

- 1 ロワー アームをジャツキ アップし各アームとアーム シャフトの取り付けナツをゆるめ, シヨック アブソーバ上部取り付けナツトを取りはずす。

第11-4表 コイル スプリング仕様

	フロント	リ ヤ
自 由 長 (mm)	391.5	346
材 料 直 径 (mm)	11.5	12.5
コイル平均直径 (mm)	73	71
総 巻 き 数	17.0	15.0
有 効 巻 き 数	15.0	13.0
取 り 付 け 長 さ (mm)	270	270
取 り 付 け 荷 重 (kg)	365	399
バ ネ 定 数 (kg/mm)	3.00	5.25

- 2 スタビライザ(1)を取りはずし、ジャツキを静かにおろす。
- 3 ボルト(2), (3), (4)を取りはずす。
- 4 ボルト(5)を取りコイル スプリングおよびショック アブソーバを取りはずす。
- 5 ナット(6), (7)をはずし、ローアームを取りはずす。

点 検

次の項目について点検し、不良のものは交換する。

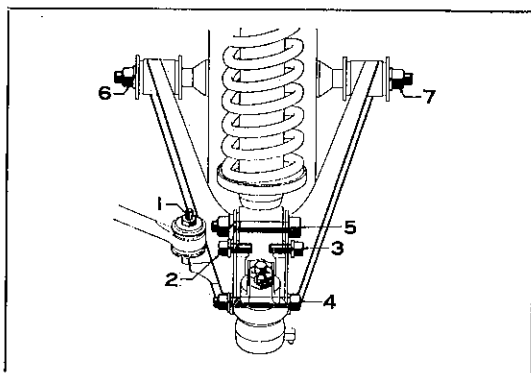
- 1 コイル スプリング; き裂, 曲がり, 衰損
- 2 インシュレータ; き裂, 損傷
- 3 ショック アブソーバ; 機能, 異音, ロッドの曲がり, ブシユの摩耗, 損傷

取り付け

注 ブシユの締め付けは積載状態で行なう。

締め付けトルク

第11-12図	(4)	8.0~11.5m·kg
	(5)	7.5~11.0m·kg
	(6)(7)	3.0~4.5 m·kg



第11-12図 コイル スプリング取りはずし

Y5243

ローアーム シャフト フロント

取りはずし

- 1 ローアームNo.1, No.2を取りはずす。

(P11-9 参照)

注 コイル スプリングは取りはずさない。

- 2 シャフトをフロント側に抜きだす。

点 検

ステアリング ナックルの項 (P11-9) 参照。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

フロント, リヤ, ホイール アライメント

注

標準荷重状態で測定する。

キャンバ, キヤスタ

フロント アライメント テスタを用い、両輪のキャンバを測定する。

基準値にない場合は、キャンバ アジャスト シムで調整を行ない、微調整は、アツパアーム シムおよびローアームのシムによつて行なう。

トーイン

- 1 フロントはラック エンド ボールにて調整を行なう。
- 2 リヤはコントロール アーム No.2 のエンドにて行なう。

注 左右のボール エンドおよびコントロール アーム No.2 エンドが同一長さであること。

第11-5表 ホイール アライメント基準値 (標準荷重時)

項 目	フロント	リ ヤ
キ ャ ン バ	+30'	-30'
キ ャ ス タ	2°	0
ト ー イン	2mm	0
キング ピン アングル	7°30'	5°

第11-6表 アツパおよびローアーム シム

アツパアーム用			
品 番		種 類	厚さ(mm)
フロント	リ ヤ		
48616-88110	48737-88110	No. 1	2.0
48617-88110	48738-88110	No. 2	1.0
48618-88110	48739-88110	No. 3	0.6
ローアーム用 (フロントのみ)			
48644-88110		No. 1	2.0
48645-88110		No. 2	1.0
48646-88110		No. 3	0.8

キング ピン アンゲル

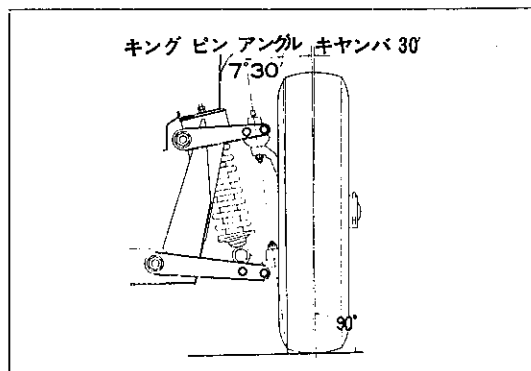
キャンバが正常でも、キング ピン アンゲルが著しく狂っているときは、ステアリング ナックルの曲がりを点検する。

サイド スリツプ測定

トーイン、キャンバ、キヤスタ、キング ピン アンゲルを測定した後、サイドスリツプ テスタを用いてサイドスリツプを測定する。

サイドスリツプ 走行距離 1 mにつき 3 mm

サイドスリツプが基準値内にならない場合は、フロント アライメントの再調整を行なう。

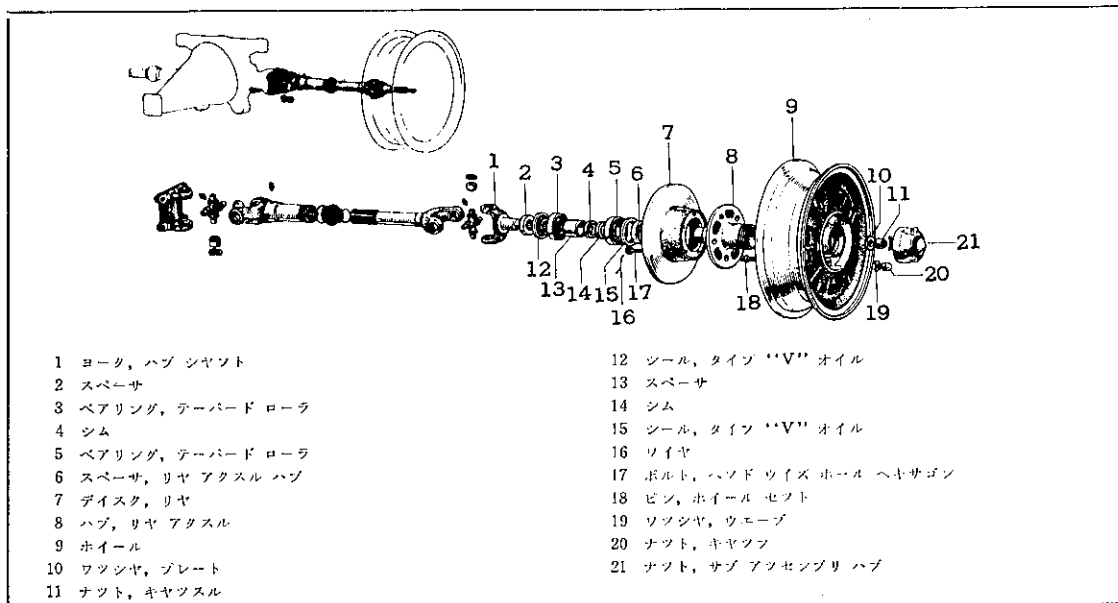


第11-13図 キャンバおよびキング ピン アンゲル

G0362

リヤ アクスル ハブ

構成部品



第11-14図 リヤ アクスル ハブ構成部品

G0363

取りはずし

- リヤ アクスル シャフトを取りはずす。
(P10-14) 参照。
- ブレーキ キャリパを取りはずし、リヤ アクスル ハブを取りはずす。
注 スベーサおよびシムに注意する。
- ベアリングをオイル シール とともに取りはずし、スベーサおよびシムを取り出す。
- ベアリング コーンを取りはずす。

分解, 点検, 組み付け

分解点検は、フロント ハブの項 (P11-5) を参照する。組み付けは、分解作業の逆に行なう。

注 ディスク締め付けトルク 4.0~5.5 m·kg

第11-7表 シム (ハブ ヨーク ベアリング調整用)

品 番	種 類	厚さ(mm)
90072-56427	No. 1	2.5
90072-56428	No. 2	2.6
90072-56429	No. 3	2.7
90072-56430	No. 4	2.8
90072-56431	No. 5	2.9
90072-56432	No. 6	3.0

第11-8表 シム (ハブ ヨーク ベアリング調整用)

品 番	種 類	厚 さmm
90072-56423	No. 1	2.52
90072-56424	No. 2	2.54
90072-56425	No. 3	2.56
90072-56426	No. 4	2.58

取り付け

1 リヤ アクスル ハブ ベアリングのプレロード調整

- (1) リヤ アクスルより, ハブ シャフト ヨークを取りはずす。
- (2) ベアリング(1), スペーサ(2), シム(3), ハブ シャフト ヨーク(4)を組み付ける。

(第11-16図)

締め付けトルク 17~19 m・kg

注

- 1 ベアリングにはグリースをうすくぬる。
- 2 オイル シールは組み付けない。
- (3) ベアリングの回転摩さつトルクが 4~10 cm・kg になるよう, スペーサおよびシムを選択する。

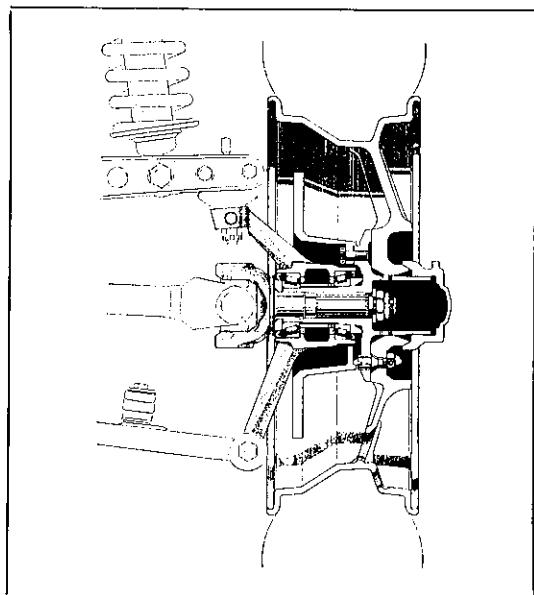
注 第11-17図のような方法で行なうと0.7~1.7kgになる。

- (4) スペーサおよびシムを取りはずし, アウタ側のベアリングと オイル シールを取り付ける。

注 ベアリング, アクスル ハブ内にキャツスルMP グリースを充てんする。

- (5) ハブを取り付け, スペーサ, シム, ベアリングを入れて, インナ側のオイル シールをリヤ ナツクル オイル シール リプレーサ〔09529-62010〕を使用して組み付ける。(第11-16図)
- (6) リヤアクスルを取り付けて, リヤ ディスクの振れを点検する (P14-6 参照)
- (7) ブレーキ キヤリパを取り付ける。

締め付けトルク 7~9 m・kg

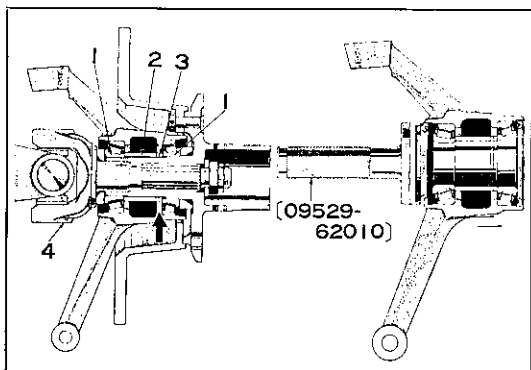


第11-15図 リヤ アクスル ハブ断面図

Y5235

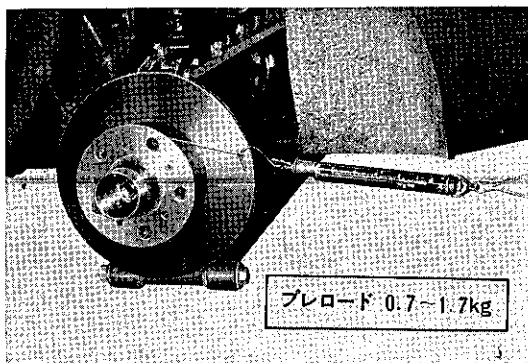
第11-9表 スペーサ (ハブ ヨーク ベアリング調整用)

品 番	種 類	長さ(mm)
90072 56014	No. 1	28.7
90072-56015	No. 2	29.3



第11-16図 スペーサ, シム選択

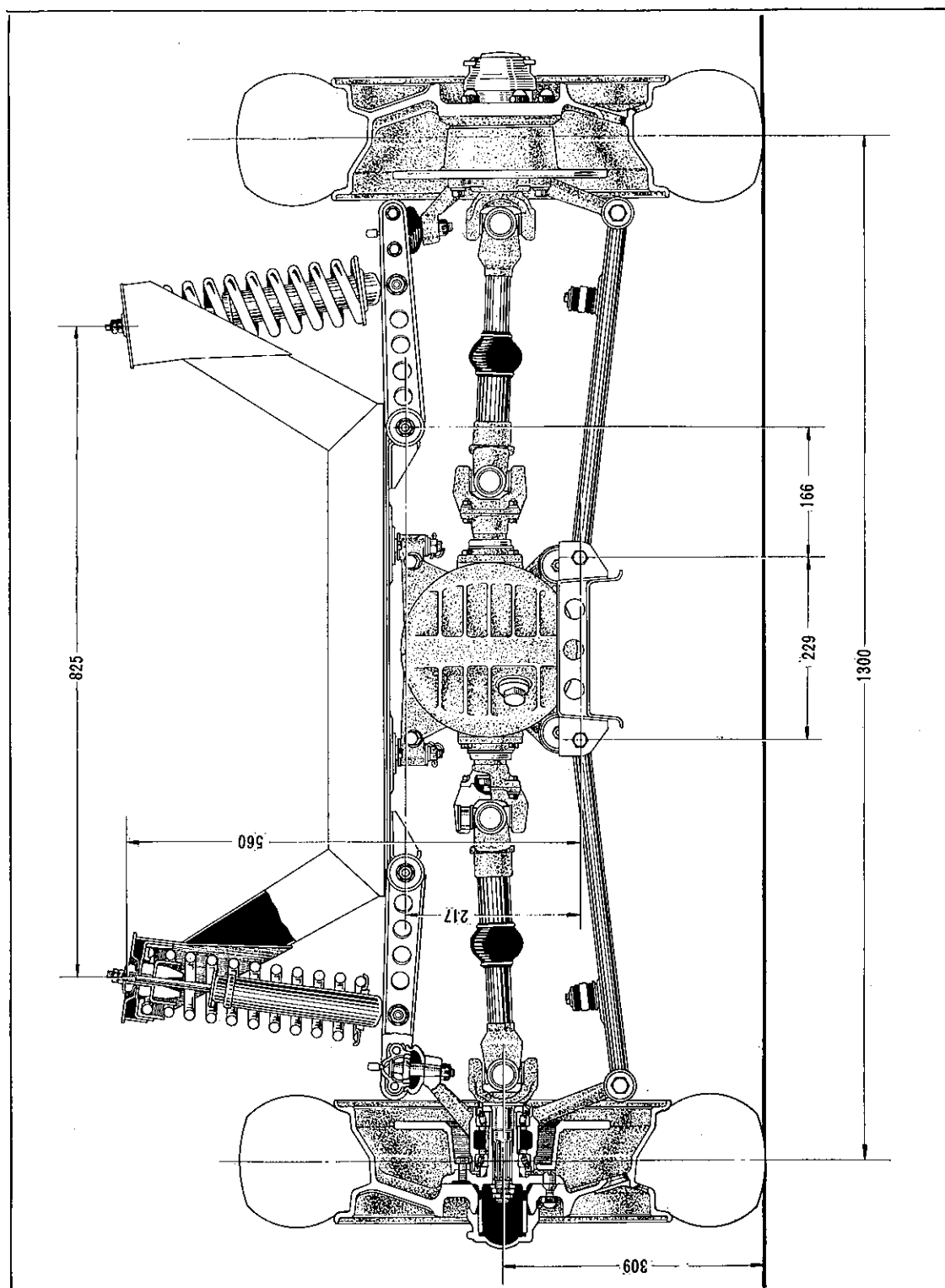
Y5236 Y5237



第11-17図 プレロード測定

Y1845

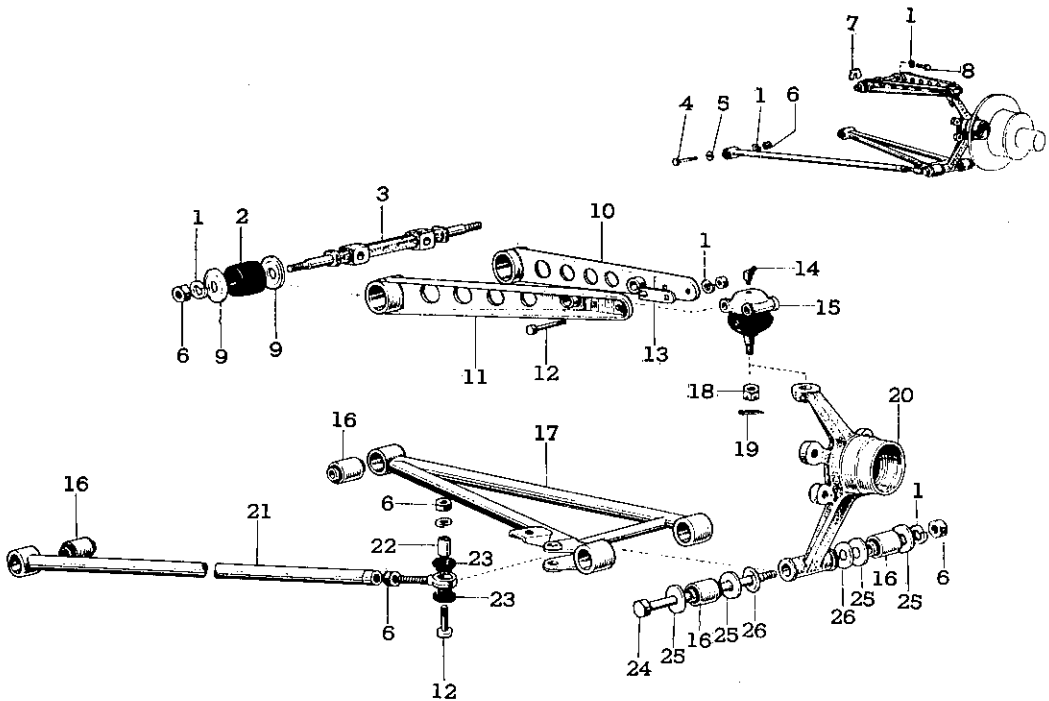
リヤ サスペンション 概 説



第11-18図 リヤ サスペンション断面

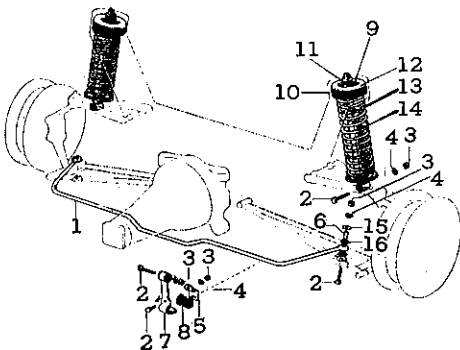
Y5238

構成部品



- 1 ワッシャ, スプリング
- 2 ブッシュ
- 3 シャフト, アッパ コントロール アーム
- 4 ボルト, ヘッドサイン
- 5 スペーサ
- 6 ナット
- 7 シム, キャンパ アジャスト
- 8 ボルト
- 9 ワッシャ
- 10 アーム, アッパ コントロール
- 11 アーム, アッパ コントロール
- 12 ボルト
- 13 シム, アッパ コントロール アーム

- 14 フィッティング, グリース
- 15 ジョイント, セット, アッパ ボール リヤ
- 16 ブッシュ, ロワー コントロール アーム
- 17 アーム, アッパ センブリ, ロワー コントロール, No.1
- 18 ナット, キヤツスル
- 19 ビン, ロック
- 20 ナット, リヤ
- 21 アーム, コントロール, No.2
- 22 カラー
- 23 ブッシュ
- 24 ボルト
- 25 ワッシャ, プレート
- 26 スペーサ



- 1 バー, スタビライザ, リヤ
- 2 ボルト
- 3 ナット
- 4 ワッシャ, スプリング
- 5 カバー, スタビライザ リンク
- 6 カラー
- 7 リンク, スタビライザ リヤ
- 8 ブッシュ, スタビライザ リヤ
- 9 クッション, ショック アブソーバ
- 10 インシユレータ, コイル スプリング
- 11 リテーナ, ショック アブソーバ クッション
- 12 スペーサ, コイル スプリング
- 13 スプリング, コイル, リヤ
- 14 アブソーバ, ショック, リヤ
- 15 リテーナ, クッション
- 16 クッション, スタビライザ

コイル スプリング, シヨック アブソーバ

取りはずし

- 1 スタンドを、ボデー サイド シルにかう。
- 2 ローアー アームをジャッキ アップして、シヨック アブソーバ 上端取り付けナットを取りはずす。
- 3 スタビライザを切り離し、各取り付けナットまたはボルト (1), (2), (3), (4), (5) をゆるめる。
- 4 ジャッキを静かにおろし、ナット (2), (3), (4), (5) を取りはずし ボール ジョイントを切り離す。
- 5 ボルト(6)をはずし、シヨック アブソーバおよびコイル スプリングを取りはずす。
- 6 スプリング インシュレータおよびスペーサを取りはずす。

点 検

点検はコイル スプリング フロントの項 (P11-9) 参照。

取り付け

- 1 インシュレータおよびスペーサを取り付けて、リヤ スプリング コンプレツサ〔09727-62010〕を使用して、スプリング、シヨック アブソーバを組み付ける。

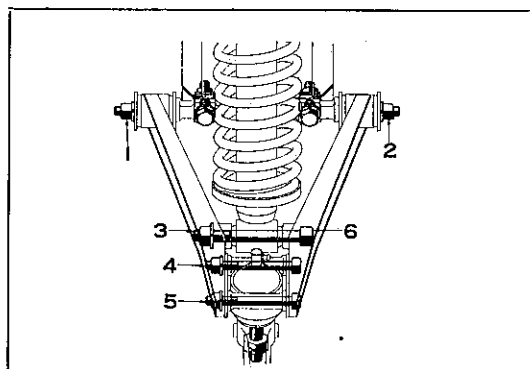
注

- 1 スプリングの中心が、スプリング ハウスの中心にあることを確認する。
- 2 ボール ジョイント、アツパ アームを取り付ける。

締め付けトルク

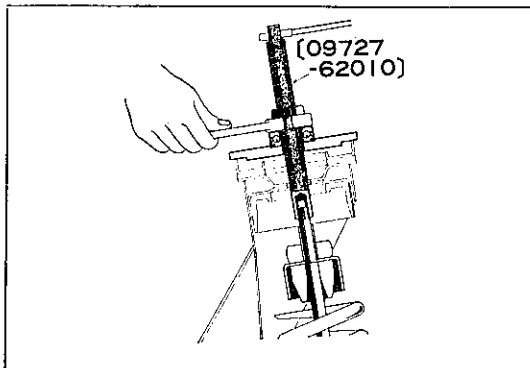
ボール ジョイント 3.0～4.5 m・kg
アブソーバ下端 7.5～11.0 m・kg

- 3 ローアー アームをジャッキ アップして、コンプレツサを取りはずし、アブソーバの上端ナットを締め付ける。
- 4 ローアー アームを標準荷重状態の位置にしてアーム ブシユを締め付ける。
- 5 スタビライザを取り付ける。



第11-20図 各ボルト ナット取りはずし

Y5240



第11-21図 コイル スプリング取り付け

Y4241

アツパ コントロール アーム, コントロール アーム シャフト

取りはずし

- 1 コイル スプリング取りはずしの項(P11-15) 参照。

注

- 1 シヨック アブソーバは取りはずさない。
- 2 アツパ アーム リヤとアーム シャフトを一体で取りはずす。
- 3 キャンバ アジャスト シムの枚数に注意する。

ブシユ交換

アーム ブシユ取りはずし組み付けはアツパ フロント アームの項(P11-8)参照。

点 検

- 1 アツパ アーム; 曲がり, 損傷, き裂。
- 2 アーム シャフト; 曲がり, 損傷, き裂。

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

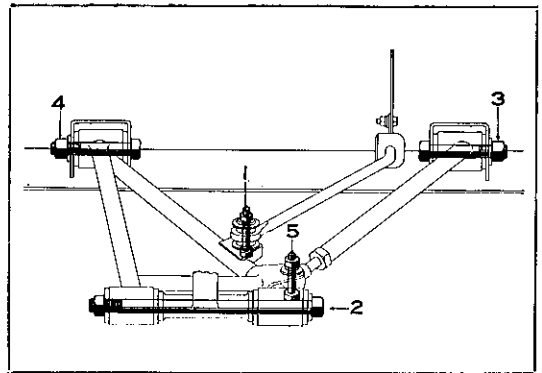
注 アーム シャフトの取り付けは、コントロール アーム リヤを仮付けしてから取り付ける。

締め付けトルク 9～12 m・kg

ロワー コントロール アーム

取りはずし

- 1 リヤ ナツクル下端をジャツキ アツプする。
- 2 ボルト(1), (2)を取りはずす。
- 3 ボルト(3), (4)を取り、ロワー コントロール アーム No.1 および No.2 を取りはずす。
- 4 ロワー コントロール アーム エンド No.2 を取りはずし、カラー、ブシュ、エンド等を取りはずす。



第11-22図 ロワー アーム取りはずし

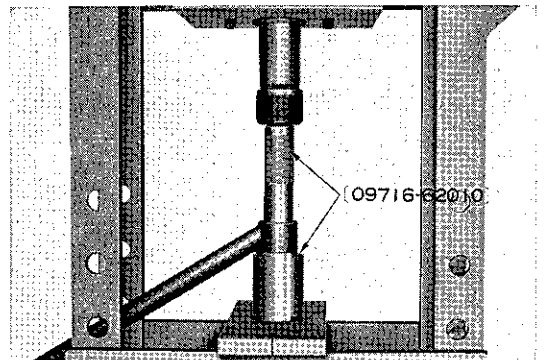
Y5242

ブシュ交換

コントロール アーム ブシュ リムーバ アンド リプレサ〔09716-62010〕を使用して行なう。

点 検

- 1 ロワー アーム；曲がり、損傷、き裂。
- 2 アーム ブシュ；摩耗、衰損。
- 3 アーム エンド No.2；カラー、ブシュの摩耗、き裂。
- 4 フレームのロワー アーム取り付け部；き裂、損傷。
- 5 スペーサ；摩耗、損傷。



第11-23図 ロワー アーム ブシュ交換

Y5242

取り付け

分解作業の逆に行なう。

注

- 1 アーム ブシュの締め付けは標準荷重状態の車高にして行なう。

締め付けトルク 7.5~11.0 m・kg

リヤ ナツクル

取りはずし

- 1 リヤ アクスル ハブを取りはずす。(P11-11) 参照。
- 2 スタビライザを切り離す。
- 3 ボール ジョイント ブラー〔09628-62010〕を使用して、ボール ジョイントを切り離す。
- 4 リヤ ナツクル取り付けボルトを取りはずし、リヤ ナツクルを取りはずす。

分解、点検

- 1 フロント アクスル ハブ取りはずし、および点検の項 (P11-5) 参照。
- 2 リヤ ナツクル；き裂損傷。

取り付け

- 1 リヤ ナツクルをロワー アームに取り付ける。
注 ナツトは仮締めしておく。
- 2 アツパ ボール ジョイント リヤを取り付ける。
注 ロワー アームをジャツキ アツプする。
- 3 リヤ アクスル ハブを取り付ける。リヤ アクスル ハブ取り付けの項 (P11-12) 参照。
- 4 スタビライザを取り付ける。
- 5 車両を標準荷重状態にして、ナツクル取り付けボルトを締め付ける。

締め付けトルク 10~15 m・kg